

水を貯え、災害に強い森林づくり事業

森林経営課 161,354千円
【財源：国庫、寄附金、森林環境税基金】

事業の目的

公益上重要な森林を対象に、伐採後の速やかな再造林や荒廃林地における広葉樹造林を進めるとともに、公益的機能をより効果的に発揮するための広葉樹造林マニュアルを作成し、水源の涵養や県土の保全等の多面的機能を発揮する豊かな森林づくりを推進する。

事業の概要

(1) 事業の仕組み

県  市町村、林業事業者等

(2) 事業内容

- ① 水土保持の森林づくり事業（補助率：造林補助金対象経費の7%以内）
水土保持機能の低下を防止するための伐採後の速やかな再造林への支援
- ② 広葉樹造林等推進事業
 - 水源地等の上流域で放置された森林を対象に行う広葉樹の植栽等への支援（補助率：造林補助金の補助残額）
 - 広葉樹造林マニュアルの作成

(3) 成果指標

- ① 速やかな再造林 1,000ha（令和6年度）
- ② 広葉樹造林面積 140ha（令和6年度）

事業の期間

令和4年度～令和6年度



【別紙】

水を貯え、災害に強い森林づくり事業

現状と課題

- ① 木材価格の長期低迷、林業担い手の不足等により、伐採後に再造林が行われない森林が増加し、森林の有する多面的機能の持続的な発揮等への影響が懸念される。
- ② 本県の人工林が収穫期を迎え主伐が進む中、適切な再造林の実施が課題となっている。
- ③ ゼロカーボン社会の実現に向け、CO₂の吸収効果の高い森林への若返り（再造林）による貢献が期待されている。
- ④ 県では、県森林環境税を活用し、広葉樹植栽や速やかな再造林により森林の整備・保全に努めており、引き続き取り組んでいく必要がある。

事業内容及び効果

① 水土保持の森林づくり事業

水源涵養及び山地災害防止機能の高い森林に指定された森林における概ね1年以内に行う再造林の支援

② 広葉樹造林等推進事業

- 水源涵養等公益的機能の高度発揮が求められる森林における広葉樹の植栽、下刈りの支援
- 広葉樹造林地の調査・検証を実施し、効果的な広葉樹造林の推進のためのマニュアルの作成



【効果】 多面的機能の高い森林づくり・速やかな再造林の推進
2050年ゼロカーボン社会の実現



速やかな再造林



広葉樹の植栽